

Ⅱ. 主要な取組

1. 道路

道路ネットワークの強化

地域内外の交流の活性化 防災・減災、県土強靱化

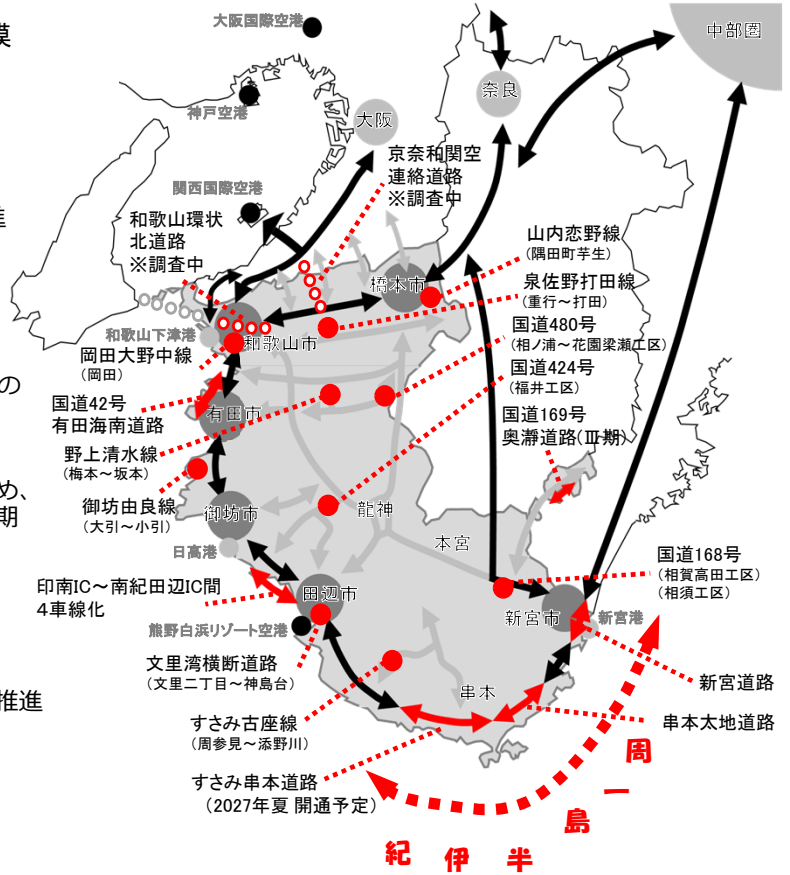
国内外の活発な人流・物流を地域に呼び込むため、また、半島防災の観点から南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、紀伊半島一周高速道路など道路ネットワークを強化しています。

【高速道路ネットワーク等の整備】

- 紀伊半島一周高速道路
 - ・国による整備
すさみ串本道路（2027年夏開通予定）の工事を推進
串本太地道路、新宮道路の用地取得や工事を推進
 - ・西日本高速道路株式会社による整備
印南IC～南紀田辺IC間の4車線化の工事を推進
- 国直轄道路
国道42号有田海南道路、国道169号奥瀬道路（Ⅲ期）の工事を推進
- 高規格道路（調査中区間）
京奈和自動車道などの整備効果をさらに波及させるため、「和歌山環状北道路」や「京奈和関空連絡道路」の早期実現に向けた取組を推進

【幹線道路網等の整備】

- 幹線道路網
国道168号、国道424号、国道480号、すさみ古座線、泉佐野打田線、野上清水線等の工事を推進
- 都市内道路
岡田大野中線、文里湾横断道路等の工事を推進
- 基本的な生活に不可欠な道路
御坊由良線、山内恋野線等の工事を推進



すさみ串本道路
(すさみ町～串本町)



泉佐野打田線
(紀の川市)



御坊由良線
(由良町)

自転車走行空間整備

地域の魅力を楽しみながらの観光や健康づくりを促進するため、利便性や安全性を備えた自転車走行空間の整備に取り組んでいます。

【サイクリングロードの整備】

- WAKAYAMA800
全長約800kmの「川・山・海」の3つのサイクリングロード。紀の川の河川敷を利用した専用道路化を進めています。
- 太平洋岸自転車道（ナショナルサイクルルート）
千葉県銚子市から和歌山市に至る延長1,487kmの自転車道。矢羽根型路面表示の設置など、利用環境の向上に取り組んでいます。

【まちなかの自転車走行空間整備】

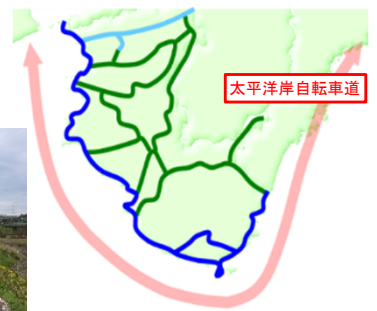
市街地において、自転車の走行位置を明確にし、歩行者と自転車の安全性を高めるため、矢羽根型路面表示等の整備を進めています。

- ルート名
- 川ルート
- 山ルート
- 海ルート



「川」のサイクリングロード

観光地域づくり



WAKAYAMA800ルート図

防災・減災対策

防災・減災、県土強靱化

南海トラフ地震等の大規模災害時における避難・救助や物資供給等の応急活動を支えるため、橋梁耐震化、法面对策、無電柱化など、緊急輸送道路等の防災・減災対策を進めています。

【橋梁耐震化】

- 和歌山橋本線（第1次緊急輸送道路）
- ・落橋防止装置の設置による橋梁耐震化を行うことで、地震等による橋梁被災に伴う通行止めリスクを軽減



対策前



対策後



【法面对策】

- 国道169号（第2次緊急輸送道路）
- ・コンクリートにより道路法面を保護することで、豪雨等による法面被災に伴う通行止めリスクを軽減

【無電柱化】

- 粉河加太線（第1次緊急輸送道路）
- ・電線を地下に埋設し無電柱化することで、台風による電柱倒壊等に伴う通行止めリスクを軽減



インフラ老朽化対策

防災・減災、県土強靱化

予防保全型インフラメンテナンスへの本格転換に向け、橋梁やトンネルなど深刻化するインフラの老朽化対策を着実に実施しています。

対策前



対策後

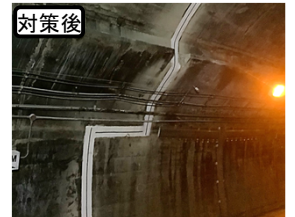
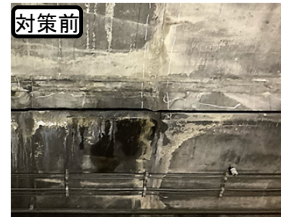


【橋梁】

- 新橋（和歌山海南線）
- ・劣化によりコンクリート部材に鉄筋露出や剥落が発生
→補修工事を行うことで橋梁の長寿命化を推進

【トンネル】

- 紀見隧道（国道371号）
- ・トンネル湧水が覆工壁面を伝い拡散
→導水樋により湧水を集約し排水することで、周辺の設備等に対する影響を低減



対策前



対策後



【道路付属物】

- 門型標識（和歌山阪南線）
- ・塗装の劣化により腐食が進行し鋼材の断面が減少
→支柱を更新することで、倒壊するリスクを低減

交通安全対策

交通安全

子どもや高齢者が安心して生活できるよう、計画的に歩道を整備するとともに、通学路の合同点検に基づく安全対策や、死傷事故が多い交差点の安全対策などを進めています。

【歩道整備】

- 新和歌浦梅原線（和歌山市）
- 宇久井港線（那智勝浦町） など



和歌山海南線（和歌山市）